

CASBEE[®] 新築 [簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版(使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	田辺病院 建替工事	階数	地上6F
建設地	京都府京田辺市飯岡南原55番地	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	440 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年7月 予定	評価の実施日	2011年12月12日
敷地面積	5,777 m ²	作成者	藤澤晶子
建築面積	3,379 m ²	確認日	2011年12月14日
延床面積	9,209 m ²	確認者	近藤吉広



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 利用者が日常を快適に過ごせるように、標準的な設備とする。		その他 建設リサイクル法に基づき分別解体と再資源化に努めるよう促す。
Q1 室内環境 F★★★★の建築材料をほぼ全面に使用する。	Q2 サービス性能 維持・管理が容易な内装設計、外装設計とする。京都市建築物等のバリアフリーの促進に関する条例の基準を満たす。	Q3 室外環境(敷地内) 周囲の環境と調和する色彩を採用し、一部屋上緑化する。また、外構に緑地を設け樹木を植える計画とする。
LR1 エネルギー 高効率な設備システムを採用する。	LR2 資源・マテリアル 再生骨材を路盤材に利用する。解体・改修・更新の際に、内装材と設備をそれぞれ容易に取り外すことのできる計画とする。	LR3 敷地外環境 ゴミのストックスペースを設ける。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される